

平成 29 年度第 3 回恵庭創生懇談会議事録（要旨）

日時	平成 29 年 12 月 22 日（金） 14：00～15：20
場所	恵庭市役所 3 階 第 1 委員会室
出席者	小磯 修二（一般社団法人地域研究工房代表理事）
	増渕 隆昭（恵庭工業クラブ（サッポロビール株式会社北海道工場副工場長）
	安保 貴弘（恵庭商工会議所青年部（宏和建设株式会社代表取締役）
	橘内 勇（学校法人鶴岡学園北海道文教大学副学長）
	切明 毅（学校法人産業技術学園事務局長）
	林 和則（北洋銀行恵庭中央支店長）
	尾田 聡（北海道銀行恵庭支店長）
	葛西 春季世（千歳公共職業安定所（ハローワーク所長））
	尾野 教仁（恵庭市政記者クラブ 千歳民報社代表）
議題	(1) 2017 恵庭市人口ビジョン改定（案）について
	(2) 2017 恵庭市総合戦略改定（案）について
	(3) その他

発言者	内容
司会	<p>【次第 1. 開催あいさつ】</p> <p>企画振興部次長 大槻より開会のあいさつ。</p>
市長	<p>【次第 2. 市長あいさつ】</p> <p>お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。今年 1 年を振り返って、それぞれの立場で恵庭市に対しまして、温かく見守っていただき、ご指導・ご鞭撻をいただいたことを心から感謝を申し上げる次第です。</p> <p>この 1 年間は、昨年の 12 月に改定した総合戦略に沿って、様々な事業を展開してきました。例えば、子育て応援企業の表彰。3 社を表彰させていただき、発表会も開催しました。5 月、11 月には台湾華僑の方々に、恵庭にお越しいただき、投資や商売につながることを目指して恵庭を見ていただきました。そういうことが少しずつですが、つながってきているような気がしています。さらに、台湾との関係を深めていき、恵庭の発展、経済の活性化につなげていきたいと考えています。</p> <p>平成 27 年に策定した人口ビジョンを平成 32 年が人口のピークとするように、KPI も含めて手直しをしようと考えていますので、後ほど皆様にお諮りしたいと思います。恵庭は地理的状況、自然環境、農業など素晴らしい</p>

市長	<p>まちだと自負しています。こうしたことをしっかりアピールしながら、市民の方、市外の方に恵庭は住みよいまちと認めていただけるように、この総合戦略を基に事業を展開していきたいと考えているところです。</p> <p>また、小磯先生には政策形成ゼミナールも担当していただき、若手職員を鍛えていただきました。3つのテーマ（総合窓口、学力向上、シティセールス）で素晴らしい報告がありました。それらも総合戦略に付け加えさせていただきたいと思います。引き続き、皆様のご支援・ご指導を賜りますよう心からお願いを申し上げます。</p>
司会	<p>欠席委員の連絡。 配布資料の確認。</p>
座長	<p>国の地方創生の取組みが始まって、2年以上経った中で、恵庭はまちづくりの指針として総合戦略を上手に使っているという印象を受けます。ここまで総合戦略を使いこなしている自治体はあまりないと思います。今日の懇談会でも前向きな議論を進めていければという思いで、進行役を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>さっそく、議事（1）に入りたいと思います。</p>
事務局	<p>【次第3．議事】 （1）2017恵庭市人口ビジョン改定（案）について</p>
座長	<p>ご質問やご意見等がありますか。</p> <p>今回の改定は、平成27年の国勢調査結果を反映させたということですが、その特徴があればご紹介していただきたいです。</p>
市長	<p>人口ビジョンを初めて策定した時は、平成22年の国勢調査結果を基にして推計していましたが、今回、平成27年の国勢調査結果が確定したので、再精査しました。加えて、この間の人口増加や、この先の住宅団地の建設など併せて考えた結果、平成32年を人口のピークにしました。恵庭市から市外に通勤・通学する人、反対に市外から恵庭市に通勤・通学する人が少しずつですが、増えている傾向にありますことから、こうした推計をしてもいいのではないかとということで提案させていただいたところです。</p>
座長	<p>では、続いて議事（2）に入ります。</p>
事務局	<p>【次第3．議事】 （2）2017恵庭市総合戦略改定（案）について</p>
座長	<p>総合戦略の改定について、最近の動き、委員の皆様からのご意見を踏まえて、改めてブラッシュアップしたということです。</p> <p>先ほどの人口ビジョンの件も含めて、ご質問やご意見等がありますか。</p>
G委員	<p>恵庭の人でも、恵庭にどんな企業があるのか、よく知らないという状況があるように思います。移住してこようと思っている人にも、恵庭にはちゃんと</p>

G委員	働く場所があることを広めていく必要があると思います。なので、Eniwa Jobs などを使って、自然環境も良いし、働く場所もあるし、住みやすいということを、いかにPRするかが大切です。情報発信をして、「きっかけ」をつくること、工夫することが重要です。
市長	Eniwa Jobs には、人材難で人がほしいという企業を中心に掲載しています。そういう企業に注目され、より知っていただければいいと思っています。Eniwa Jobs を移住希望者だけでなく、恵庭市民にも広まればいいと思いますし、そういうことで雇用環境が少しでも良くなればと思います。
D委員	3年～4年間、恵庭に住んでいる学生をどう定着させるか。何か仕掛けは必要だろうと思います。
市長	3年～4年間、学生生活をしていく中で、恵庭は良いところだなという魅力を感じていただいて、例えば札幌に勤めるという時でも、恵庭に住んで札幌に勤める選択肢もあるよと。あるいは恵庭に勤める選択肢もあるよというふうに思っただけのような魅力あるまちをつくっていきたいと思います。できれば、若い人たちが終日遊ぶことができ、美味しいものを食べられるようなまちになりたいものだなと思っています。
座長	若者が集っているというのは、まちにとって素晴らしい状況です。若者が集う空間が、魅力を増してまちの核になっていく動きもあります。若者の滞在時間を長くして、魅力づくりをしていく取組みは、都市の政策としては大事なことだと思いますし、そういう可能性が恵庭にはあります。
E委員	小学校や中学校、高校などで恵庭市の総合戦略を学ぶ機会をぜひつくっていただきたいなと思います。レベル間の表現は変わってくると思いますが、その時々子どもたちに、今の恵庭の現状をベースに、子どもたちはどういう発想で、どういう形にするかやってみよう面白いのかなと思いますし、より恵庭市に対する考え方が緊密になってくるんじゃないでしょうか。例えば、夏休み・冬休みの自由研究などができるようなセミナーを開催して、市役所の職員さんだけでなく、学生や恵庭で生活している20代の社会人の方も交えて、恵庭について語ってもらおう。そのベースは総合戦略ということで、次にPDCAを回していく中で、そこの場に出た意見を取り入れていくと、より良くなると個人的には思います。 人口ビジョンの中で、通勤や通学で千歳や札幌に出る人が多いことがわかりますが、これは地理的優位性があり、非常にメリットです。これから、働いていく人が増えていくような土壌があるというふうに私は捉えています。
F委員	特に若者や女性に対する施策が盛り込まれていて、いいなと思います。私が体感している求人関係のお話をする、人材マッチングの企業さんと提携して、恵庭の企業に就職したい人を紹介してもらおうことなどをやっています

F 委員	<p>が、最近この動きがものすごく多いです。また土地のニーズ情報でいうと、苫小牧、千歳、恵庭、この辺りに出てきたい、土地を探してくれという企業さんがけっこうあります。つまり、Eniwa Jobs に掲載されている企業さん以外にも、まだまだ人材不足の企業さんは多いと感じています。企業と求人とのマッチングに力を入れると、もっと人が集まってくるまちなんだろうと思います。展開の仕方としては、人材がほしい企業はたくさん出てくると思いますが、紙やデータベースに情報を載せるとき、業種ごとに並べて企業を紹介するというような形をとれば、使いやすく、探しやすくなるのかなと思います。</p>
G 委員	<p>恵庭に家を建てた方に聞くと、恵庭は場所が良い、土地も安いし広々とした家を建てられるし、静かで自然環境も良いと。札幌にも通おうと思えば通えと。このような恵庭の良いところを、いかに知ってもらうかが大事だと思います。情報の発信の仕方をどうするのか。ちょっとしたことで爆発的に広まることもあるので、何か考えていただければと思います。</p> <p>また、人口推計で直近は増えていますが、長期的に見ると減少幅が大きくなっていますので、どのように維持していくのかということも考えていかなければならないと思います。</p>
H 委員	<p>人口が増えているため、人口ビジョンを改定しますということ自体、恵庭の魅力を発信する一つになっていると思います。2020年（平成32年）を人口のピークとしています。総合戦略は平成27年～31年の5年間で、ピーク以前に途切れてしまうと。この辺はどういうふうを考えていますか。例えば、総合戦略の期間を見直して、取組むとか。</p> <p>それと、コンパクトシティについて、歩いて暮らせるようなまちづくりが求められると思っています。ただ、恵庭の場合はまちが恵庭、島松、恵み野と分散している状態です。この辺をどのように集約していくのかなと思いました。</p>
市長	<p>総合戦略は国では平成27年から5年間としています。国の地方創生がどうであろうと、あまり関係ないという思いの中、総合戦略を策定していますので、これからもこの総合戦略に基づいてやっていきたいと思っています。というのも、平成28年から10年間の計画で第5期総合計画があります。その総合計画を推進するためのもの、いわば推進役のような形で総合戦略を考えています。総合計画と連携しながら、進めていきたいと思っています。</p> <p>コンパクトシティについて、平成23年に都市計画マスタープランを策定して、その時に打ち出したものです。JR3駅を中心とするコンパクトシティをつくらうということで、駅周辺に公共施設や商業施設、医療施設をできる限り集めた中で、歩いて暮らせるまちづくりを目指したいということで考え</p>

市長	ております。3つの駅のかたまりをつなぐために、エコバスを充実させていこうということで、今はエコバス4台ですが、来年度からは6台にして、短い時間で目的地に到着できるような方法をこれから考えていきたいなと思います。郊外については、エコタクで対応していこうと。それぞれの駅を中心として、生活インフラをつないでいこうと考えています。
D委員	2020年の東京オリンピック以降の話題として、I Rが注目されていますが、現段階で北広島市や苫小牧市でI R関連の動きがありそうだとことを踏まえて、近隣の市である恵庭市はどのようなことを考えていますか。
市長	今の段階では全く考えておりません。ただ、そういうことで影響を受けるということになれば、少しずつ対応しなければならないのかなと思います。
C委員	総合戦略の12ページにある教育環境の充実、学力向上について、この部分は非常にまちづくりに重要だと思います。恵庭の子どもたちは、他市町村の子どもたちより、学力が高いというようなことが噂で広まったりすると、恵庭に住んでみようと思う子育て世帯が増えるのではないのでしょうか。一つの売りがあれば、がらっと変わると思います。 それと、定年後の方には貴重な人材がたくさんいます。そういう方々にもお願いをして、これから子どもを育てる方へのアドバイスやボランティアで協力してもらうこともできると思います。今の若者はコミュニケーションが上手くとれない、レポートの文章が上手く書けない人が多いです。もう少し早い段階で、読み聞かせや実際に文章を書くとか、そういう体験を経験豊富な方からアドバイスをいただくと、子どもたちは伸びるんじゃないかと思います。子育て世代の方に目を向けていただけるような施策があればいいと思います。
B委員	子育てについて、日曜日に子どもを預けられる場所がないことや、子どもを預けられない時間帯に働いている方がいることなど、細かい部分の問題をクリアしていく方法があれば、子育て世代が増えることもあるので、その辺が充実しているまちになったら、もっといいなと思います。
A委員	外からの集客を考えたときに、それぞれの駅から観光地にまっすぐ行けるような仕組みがあればいいなと思います。駅が交通のハブだという観点が、もっと定着すれば、駅周辺のにぎわいも出てくるのかなと思います。 前回の懇談会でもお話ししましたが、工業団地で働いている人たちが、どれだけ恵庭のまちを知っているか。恵庭には人がいながら、多人数がまとめて入れるようなお店がないことや、宿泊施設がないことなど、結局この部分は他のところに流れてしまっています。これは大きな課題だと思いますが、そういう部分ができてくることによって、恵庭の活性化につながると思います。
座長	あと他に委員の皆様より、何かございますか。

座長	<p>先ほどの市長から総合戦略の位置づけについて、H委員からの質問に対して、お答えした部分が大事なところで、国の総合戦略が5カ年計画で、今のところ先が見えません。その中で、自分たちにとって大事なことをやっていくという姿勢はすごく大事だと思います。国に与えられた枠組みの中で、ここまで総合戦略を進めてきて、これからの総合戦略はこういう形でやっていくんだという前向きな議論も、そろそろ始めてみてもいいのかなと思います。</p> <p>それから、先ほどご紹介しました職員による3つの提案の中の一つで、学力向上年次計画の策定について、恵庭は学力が高いまちなんだという戦略は、本当に大事な部分です。先ほどもC委員のお話にありましたが、退職された人材を教育の質の向上に向けた色々な意味でのサポーターとして、使っていく取組みを実際に一つでも二つでも進めていくことが、大事だと思いますし、その結果はともかく恵庭市がそういう取組みをしているんだという発信をしていく。これから子育てをしていく世代の方たちに、響くものもあるんじゃないかと思います。</p> <p>全体の議論として、人口ビジョンと総合戦略の改定について、この方向で進めていくことをご了解を得ていますので、その他に何かございますか。では最後に市長より、何かございますか。</p>
市長	<p>これまでもそうですけど、真に恵庭を見ていただいて、また貴重な提言をいただいて本当に感謝しております。先ほどの皆様方からのご意見をこれからのこの総合戦略に活かすということもありますけど、それ以外でも今やっている施策にも活かして参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それと、先ほどの私の公約についてもお示しし、お手元にあると思いますけど、これらについても少し精査をし、これらの中から総合戦略に取り入れたほうがいいものがあれば、取り入れていきたいなと思います。これについても市民の皆様提示をし、約束した事項ですから、これはこれでしっかりと実現して、この総合戦略に取り入れるものについては、取り入れるということで、後ほど皆様方にご理解をいただけるように提案をさせていただきたいと思います。ただ、会議がもうこれで終わりですので、来年度になるか、あるいは今年度であれば、皆様方に個々にお知らせをすることになるかと思いますが、ご了解をいただきたいなと思います。本当に1年間、3回にわたってご出席いただきありがとうございます。これからも精一杯、恵庭市民の幸せと恵庭の発展のために、尽くして参りたいと思いますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。</p>

座長	最後に事務局より、何かございますか。
事務局	報償の支払いについて説明。
座長	今年度、第3回目の恵庭創生懇談会を終了します。 ありがとうございました。